

## ➤ 29日 火曜

### ガラテア

5:13 兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕え合いなさい。

5:14 律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことで全うされるのです。

5:15 気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。

5:16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。

5:17 肉が望むことは御霊に逆らい、御霊が望むことは肉に逆らうからです。この二つは互いに対立しているので、あなたがたは願っていることができなくなります。

5:18 御霊によって導かれているなら、あなたがたは律法の下にはいません。

5:19 肉のわざは明らかです。すなわち、淫らな行い、汚れ、好色、

5:20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、

5:21 ねたみ、泥酔、遊興、そういった類のもので、以前にも言ったように、今もあなたがたにあらかじめ言うておきます。このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。

5:24 キリスト・イエスにつく者は、自分の肉



を、情欲や欲望とともに十字架につけたのです。

5:25 私たちは、御霊によって生きているのなら、御霊によって進もうではありませんか。

5:26 うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりしないようにしましょう。

一般的にも自由と身勝手とは違います。聖書でも自由とは欲望のままに生きることではありません。むしろ欲望に支配されている状態から自由、すなわち欲望によって本当の生き方が出来ない状態から、欲望に支配されずに生きられるようになることが自由です。

欲望や身勝手によって生きるなら、「隣人を...愛する」ことなどできませんし、むしろ「互にかみ合っ」て生きようになってしまうのです。

そのような本当の自由を手に入れるのには聖霊の力が必要です。「聖霊は肉に逆らう」から、すなわち肉の欲望に打ち勝つ力があるからです。聖霊は私たちの心の底から変えて、喜んで愛と平和と真実を求めるようにしてくださるのです。御霊の実である「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実」を求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

